



慈恩

雲林寺報 28号

2020年1月発行

年頭ならびに就任のご挨拶

新春を迎え檀信徒皆様のご健勝とご多幸を心より祈念申し上げます。
昨年十一月二十七日に曹洞宗管長より就職辞令を拝受致しました。先住、二十九世紀久和尚より内法を引き継ぎその重責を改めて感じております。素より浅学非才でその任に足る禅器でないことは重々に承知しておりますが、檀信徒皆様のご支援を賜りながら当山三十世住職として微力を尽くす所存でございます。

また改元の令和元年に、そして雲林寺が曹洞宗として開山されて四六〇年の節目の年に住職の命を受けた奇縁に深く感謝しております。
自身、平成十三年より当山の副住職としてその任に当たらせて頂いておりましたが、十数年前から今まで、檀信徒の皆様のご法愛によって生かされてきたことは、言うまでもありません。雲林寺の檀家の皆様は本当に「あたたかい」。

その温もりに甘えぬよう、今まで以上に住職として真摯に努めてまいりたいと考えております。「宝鏡三昧」というお経の中の一節に、「潜行密用は愚の如く魯の如し」とあります。これは、ひとしれず徳行を積むことや本当に大切なことは、利益のみで動くのではなくて、愚かな人のように魯（デクノボウ）のように目立たず行ずるという意味です。

この先、何年その任を行ずるのかは分かりませんが日々を平常心是道と念じて地道にしつかりと雲林寺の法灯を相続して参りたいと思ひます。
末筆乍ら、皆様の安寧を切に申し上げ年頭、就任の挨拶とさせていただきます。

三十世住職 轟 省吾



曹洞宗宗務庁（東京都港区）にて管長より住職辞令を頂きました。

護持会だより

本年も宜しくお願い致します。
昨年六月二十四日の総会に於いて総代役員が改選されました。左記のとおりになります。又、世話人の交代がありました。長野原地区を長く務めて頂きました市川儀一様が退任され、後任に岩木夏雄様に務めて頂くこととなりました。北軽井沢地区の吉田昇様が退任され、後任に斎藤光善（みつぎ）様に努めて頂くこととなりました。市川様、吉田様には大変お世話になり、深く感謝申し上げます。

- (総代)
 会長 田村 守
 副会長 櫻井芳樹 長谷川誠
 書記 山口次夫 黒岩 元
 会計 永井芳司 宮崎 透
 監事 櫻井輝久 萩原宗仁 佐藤良平
- (世話人)
 長野原 宮崎広保 湯本定由 山口喜正
 山崎敷男 長谷川浩一
 割田伸男 岩木夏雄
 浅見良雄 市村真 小林喜一郎
 櫻井敏雄 塩野英介 湯本茂 吉澤功
 大津 黒岩進 櫻井孝治 山口義秋
 羽根尾 萩原富夫
 与喜屋 金子茂雄
 横壁 小林寛 篠原憲一 小林柳一
 林 川原湯・川原畑 豊田清
 北軽井沢 青木博文 岩田紀重 神戸久利
 小林一雄 清水忠雄
 宮田満 宮澤昭次 斎藤光善

雲林寺の主な年間予定

- 一月二日 新年祈禱会
- 一月四日 年頭の御挨拶回り
- 二月三日 節分会（午後六時半）
- 二月十五日 釈尊涅槃会
- 三月十八日 春彼岸
- 四月三日 大般若会（午前十時半）
- 四月八日 釈尊降誕会（花まつり）
- 四月中旬 護持会総会
- 八月五日 天明物故者供養
- 八月十四日 大施食会（午前十時半）
- 九月二十日 秋彼岸
- 十月十二日 第十二回親睦ゴルフコンパ
- 十二月三十一日 除夜の鐘

★大般若会は大勢の僧侶が大声で転読し、空中で經典が飛び舞う最も華やかで動きのある行事です。転読の風を受けると「身が清められ、無病息災が約束される」とも言われています。どなたでもご参列できます。是非、お出かけください。





令和元年下半期 主な催しのご報告



- ①8月5日、天明の供養祭が行われました。天明3年の浅間山噴火は5月8日～8月4日に大噴火、火砕流が発生し、8月5日午前10時頃土石流による大災害となりました。この大字長野原の地は240名程の犠牲者を出しました。当山では平成16年に供養碑を建立し、それ以降毎年この8月5日に供養祭を行っております。
- ②8月14日は大施食会でした。法要前に東京杉並区の龍泉寺ご住職に「お盆」「お墓」等をテーマに法話して頂きました。施食会は有縁無縁の精霊に飲食を施す法会ですが、他の為にする供養は自分自身に積む善徳となります。今年も年回に当たられる檀家様にご案内をさせていただきます。ご家族そろってお越し頂ければ幸いです。
- ③8月21日、長野原町教育研究会20名様が「地域めぐり」で当山を訪れました。雲林寺の歴史についてお話させて頂きました。
- ④草津町交換留学生のドイツの方とそのホストファミリーのご家族がお寺へお越しいただきました。坐禅や書道、お琴の演奏体験をして頂きました。
- ⑤9月24日、忠霊塔英霊供養祭が行われました。忠霊塔は第2次世界大戦の長野原町の戦没者の霊を顕彰しています。
- ⑥11月6日より2日間、第六教区の旅行で大本山総持寺を参拝致しました。当山より総代様を含め12名様ご参加頂きました。天気に恵まれ、総持寺の他、東京巢鴨のとげ抜き地蔵、皇居等を巡りました。

雲林寺橋場墓地記念碑完成式
 昨年九月二十日、雲林寺橋場墓地の記念碑式典が行われました。当初、明治年代の松谷発地は当初、明治年代の橋場墓地の土砂を水路建設で搬出された土砂を利用して現在地を拡張したため、建設に伴う一般のダム建設に伴う隣接河川の敷設が平成二十一年に現在地に川敷を埋立て造成した。雲林寺橋場墓地の管理組合様より、先祖様の安んびを願うため、記念碑が建立され、眠りを願う。



第十一回雲林寺親睦ゴルフコンペ

結果発表

一位	湯本 完司様
二位	川嶋 仁様
三位	唐澤 次男様
四位	金子 幸弥様
五位	岩田 三男様
六位	岩田 紀重様
七位	桐原 始春様
八位	吉澤 功様
九位	唐澤 秀行様
十位	唐澤 明雄様
B G	唐澤 次男様



昨年十月十四日、草津カントリークラブにて、第十一回雲林寺親睦ゴルフコンペが開催されました。檀信徒四十六名のゴルフファーにお集まり頂きました。今年も秋に開催を予定しておりますので、初めての方も是非ご参加ください。

感謝録

- たくさんのご奉仕を頂きましてありがとうございます。誠にありがとうございました。
- 日本酒 秘幻十本 浅間酒造様
 - コシヒカリ十キロ 吉澤建設様
 - ゴルフボール一箱 萩原宗仁様
 - あきたこまち五キロ 長谷川浩一様
 - ラーメン三箱 都建設様
 - コーヒードー箱 萩原 稔様
 - サイダー一箱 萩原 稔様
 - 夕食御招待券(ヘア)二組 草津ナウリソートホテル様
 - 草津フボール 草津カントリークラブ様
 - ゴルフバッグ 草津カントリークラブ様

得度式を厳修しました

昨年9月14日、住職長男 陽春 が得度しました。



地域の行事

長野原町の地域の行事に導師として参加させて頂いております。

- 一月二十八日 川原湯地区初不動尊
- 四月及び十一月月中旬 伴僧坊薬師堂（長野原）
- 四月及び十一月月中旬 白馬観音（長野原）
- 五月十五日 貝瀬薬師堂（長野原）
- 五月及び十月二十八日 不動尊（雲林寺内）
- 九月二十三日 勢至菩薩、観世音菩薩供養祭（横壁）
- 九月下旬 群馬満蒙拓魂之塔合祀慰霊祭（北軽井沢）



群馬満蒙拓魂之塔は長野原町北軽井沢大屋原地区にあり、群馬から満州へ開拓民として送られ犠牲となった方や開拓に従事した物故者を祀っています。



近年、少子高齢化や生活スタイルの変化により、日本全国で地域の行事や祭りが、存続の危機に直面していると聞きます。地域の行事を身近に感じられない若い世代の方も多いかもれません。ただ、行事には信仰と娯楽の両面があるので、楽しみに行っても構わないのではないのでしょうか。いつの時代も先人は変化を受け入れながら、伝統を絶やさないための工夫をしていた様に思います。

毎年皆様にお逢いし、地域の色々なお話が聞ける事を大変楽しみにしております。

雲林寺境内の整備

昨年暮れに旧庁舎の解体が終了し、境内が更地となりました。今後の整備に際し皆様から様々なご意見を頂戴しております。

寺裏山の墓地をお参りし易くして欲しい町所有の忠霊塔が敷地内で目立つので他の土地へ移転した方が良いのでは、永代供養塔を検討しているがお参りしやすくして欲しい

正座ができないので、法事前の待合室は椅子とテーブルだと助かります。等

今後も皆様のご意見を参考にさせて頂きたく思います。是非、気軽にお声かけ下さい。

東堂（とうどう）

東庵とも表現します。中国では古代から東を上位と考え、皇帝の座を退いた者の寝室は前皇帝に敬意を表する意味から東側に造られ東堂と呼ばれました。後に寺院でも住持の座を退いた者の寝室を東堂と呼ぶようになり、さらには前住職自身を東堂と呼ぶようになりました。

二十九世紀久和尚は東堂の位に就かれたわけですが、今後も変わりに法事や檀務に精進して参ります。宜しくお願致します。



檀務の他、様々な相談事にものります。お気軽にお寺にお出かけ下さい。

大節分会

（二月三日十八時三十分より）

二月三日は令和最初の節分会です。当山では厄払いの祈禱法要を毎年行っております。お申し込みされる方は近くの世話人さん、又は雲林寺に直接ご連絡ください。尚、祈禱を申し込まなくても節分会にご参加頂けます。毎年沢山の景品をご用意しておりますので、是非楽しみにご参加下さい。

一般祈禱 二千元
記念品付祈禱 三千五百円



祈禱を申し込まれた方は「祈禱者席」にご参列下さい。和太鼓が厳肅に鳴り響き、法要が始まります。



記念品付祈禱を申込された方は会場の特設舞台上がって福豆をまいて頂きます。尚、まかれた福豆の中にはくじが入っており、景品と交換できます。

梅花流たより

昨年十一月一日、梅花流群馬県奉詠大会が「草津」に引き続き、今年もまた吾妻の地「バイテック文化ホール」にて行われました。吾妻で開催されますと、当講員にとっては早朝に起きて準備することなくゆとりと会場入りできる利点があります。

県内各地より梅花講員さんが集まり、開会式が厳修されました。登壇奉詠は四番目でした。常林寺講、無量院講、雲林寺講の三講により高祖承陽大師道元禅師讃迎御和讃、同御詠歌を奉詠しましたが、講員の心を一つにした奉詠は、聞く側から「とても心地よかったです」とお褒めの言葉を頂戴致しました。

午後後の清興の部ではパーカッションフロートによる演奏でした。マリリンバの演奏と坪根剛介さんの打楽器を使って観客を巻き込むコンサートは万人に楽しめたようです。閉会式後「まごころに生きる」を生演奏して下さいました。また、この県大会で特に嬉しかった事は講員さん以外の方三名の方に出席して頂き大会の内容にとっても感動しました。

轟 美代子

2020年（令和2年）厄年早見表

	前厄	本厄	後厄
女19歳の厄	17歳（2003生）	18歳（2002生）	19歳（2001生）
男25歳の厄	23歳（1997生）	24歳（1996生）	25歳（1995生）
女33歳の厄	31歳（1989生）	32歳（1988生）	33歳（1987生）
女37歳の厄	36歳（1984生）	37歳（1983生）	38歳（1982生）
男42歳の厄	40歳（1980生）	41歳（1979生）	42歳（1978生）
男女61歳の厄	59歳（1961生）	60歳（1960生）	61歳（1959生）
幼児4歳の厄	2歳（2018生）	3歳（2017生）	4歳（2016生）



